

## 2004年 山のトイレを考える会 活動報告

川口恵典（山のトイレを考える会）

### 1. 第5回山のトイレを考えるフォーラム（2004年2月7日）

第5回フォーラムが札幌コンベンションセンターで開催され、60名を超える参加者を迎えて行われました。今回のテーマは「山小屋のトイレから考える山のトイレ問題」です。ゲストスピーカーは次の6人でした。

- ・小室一也氏（北海道後志支庁地域政策部環境生活課）
- ・小笠原実孝氏（空沼岳・万計山荘友の会 副会長）
- ・片山 徹氏（白雲岳避難小屋管理人）
- ・荒井修二氏（北海道環境生活部環境室自然環境課）
- ・内藤美佐雄氏（美瑛山岳会 事務局長）
- ・石森 充氏（平取町山岳会 会長）

みなさん、自然にインパクトを与えない山小屋トイレの維持管理のために、苦労されていました。また、トイレの無い美瑛富士避難小屋の最適なトイレ方式についても意見交換、問題解決に向けた熱い議論が交わされました。

### 2. 山のトイレマナーガイド（カラー版）の作成（2004年2月20日）

念願だった北海道版山のトイレマナーガイドを作ることができました。A4版三つ折りで、今までの当会の活動の思いが凝縮されたリーフレットです。親しみやすく、分かり易い内容に出来上がったと思います。トイレデーや各種イベント等で多くの人に配布しました。

### 3. 携帯トイレ回収ボックスを寄贈（2004年6月）

登山・トレッキングウェアの専門メーカーである（株）ムッシュさんは、売上げの一部を山岳環境保護に充てる社会貢献活動をしています。この件で、当会に連絡があり、検討した結果、利尻山で携帯トイレの使用を推進している利尻富士町と利尻町にそれぞれ1基ずつ回収ボックスを寄贈する運びとなり、6月に駕泊コースと杓形コースの登山口に設置されました。

（株）ムッシュ様のホームページ <http://www.musshu.co.jp/>

### 4. 2004全道一斉山のトイレデー実施（2004年6月27日）

大雪山の山開きに合わせ6月27日に実施しました。北海道の約22箇所の登山口で新しい山のトイレマナーガイドの配布、トイレマップの配布、登山者への啓発、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を一斉に行いました。参加者は約90名、マナーガイドの配布数は約1200枚を配布することができました。

### 5. 美瑛富士清掃登山の実施（2004年9月5日）

美瑛富士の避難小屋は1996年に新しく建替えられましたが、トイレがありません。そのために小屋付近は糞尿とティッシュで汚れており、目を覆うばかりの状態です。美瑛富士避難小屋は、人気のオプタテシケ山への登山ルートにあり、十勝連峰と大雪山を繋ぐ中継地点でもあることから、多くの登山者が利用しています。今回の清掃登山では、ゴミや使用済みの紙を回収するだけでなく、し尿散乱の状況を把握する意味も込めて放置されたウンコの回収も行いました。

当日は当会の横須賀代表はじめ、当会会員、北海道の山メーリングリスト会員などの他、美瑛山岳会の内藤事務局長を含め17名が参加しました。ビニール袋、火ばさみ、バケツといった清掃用具を持ち、ティッシュ142箇所、ウンコ51盛を回収し、担ぎ下ろしました。

当会では、この小屋にトイレが設置できるよう、今後、行政等に働きかけていきます。多くの皆様のご支援をお願い致します。

6. 2004山のトイレデー利尻の実施(2004年9月11日)

携帯トイレの使用を推進している利尻山で9月11日、山のトイレを考える会利尻グループ・利尻礼文サロベツパークボランティアの会主催で清掃登山を実施しました。参加者は8名。杓形コースと鴛泊コースの2班に分かれて、マナーガイドの配布、ゴミやティッシュの回収、携帯トイレプースの修理などを行いました。

7. 北海道山小屋フォーラムで活動報告(2004年10月16日)

札幌エルプラザで初めての「北海道山小屋フォーラム」が行われました。道内にある山小屋のあり方を問う集まりに当会も招かれ、会の副代表である岩村が報告をしました。会発足以来の活動内容、今後の取り組み方針、山小屋と山トイレ問題の関わり、既存山岳会の役割など多岐に渡る内容に時間もオーバーするほどでした。また山小屋の主たる問題もトイレに関するものが多く、今後も山小屋との連携が欠かせないのが浮き彫りになりました。

8. 山の水場・環境報告フォーラムに参加(2005年1月22日)

東京の航空会館で開催された「第3回 山の水場・環境報告フォーラム」に当会から4名参加。愛甲事務局長が北海道の山のトイレの現状と活動内容について報告しました。

9. ニュースレターの配布(2005年1月25日)

第6回フォーラムの案内状に同封し、当会の活動報告として2004年ニュースレターを約500通、関係団体、登山者等に送付しました。

10. 毎月1回以上ミーティングを実施しました。

以上

# 2004山のトイレデー活動結果

山のトイレを考える会事務局

2004トイレデーは大雪山の山開きに合わせ6月27日に実施しました。北海道の約22箇所の登山口で新しい山のトイレマナーガイドの配布、トイレマップの配布、登山者への啓発、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を一齐に行いました。参加者は約90名、マナーガイドの配布数は約1200枚を配布することができました。「ティッシュは持ち帰っているよ」「携帯トイレも使っているよ」「毎年やっているんだねえ」「〇〇にはトイレが欲しいですね」など多くの人の声を聞くことができました。トイレ問題の認知度もかなり高くなったきたと思います。活動に参加して頂いたみなさま、ありがとうございました。

(注)H16年6月27日(日)が山のトイレデーでしたが、他の日に活動したのも掲載してあります。

※印はリーダー

地域	山岳	登山口	参加者(敬称略)	参加人数	マナーガイド 配布数	トイレ マップ 配布数	トイレ 情報 配布数	特記事項
旭川	山開き出 発式	旭川市民会 館	※愛甲哲也・川口恵典	2	150	0	0	26日
表大 雪	銀泉台	銀泉台	※上井博志	1	20	0	20	—
"	旭岳	姿見の池	※伊藤康弘	1	0	30	0	26日
"	"	旭岳ロープ ウェイ前	※伊藤康弘	1	149	30	0	—
十勝 連峰	富良野 岳	十勝岳温泉 コース	※鈴木和夫夫妻	2	100	50	100	26日・ 27日
"	十勝岳	望岳台コ ース	※横須賀邦子・米川末吉・西田弘	3	40	45	25	—
"	美瑛岳	望岳台コ ース	※小笠原実孝	1	20	0	20	26日・ 27日
"	美瑛富 士	涸沢林道 コース	※愛甲哲也・川口恵典	2	13	0	0	—
東大 雪	ニペソツ 山	十六の沢	※小塩俊二・坂口一弘・泉加澄・佐藤 真理・西田美智子・今善秀・石田敏幸	7	20	0	20	—
道央	手稲山	平和の滝 コース	※仲俣善雄・森田豊実	2	88	0	28	—
"	藻岩山	慈恵会登山 口	※坂口利貞他6名	7	100	0	35	—
"	積丹岳	東尾根コ ース	※熊岡忍・山之内沙果	2	48	0	48	—
"	羊蹄山	真狩登山口	※阿部・島田・小室・大西夫妻	5	100	0	0	—
"	羊蹄山	真狩コース →京極コ ース	※鈴木貞信他20名	21	37	0	20	—
"	室蘭岳	白鳥ヒュッテ 前	※泉恵子、山下由美	2	37	0	0	—
"	塩谷丸 山	JR塩谷駅 コース	※仲俣善雄夫妻	2	20	0	0	26日
夕張	夕張岳	大夕張コ ース	※梅田他8名	9	50	0	0	7月4 日

道北	手塩岳	前手塩岳 コース	※鈴木貞信・中村喜吉・西野數之・漆 崎隆・高木百合子	5	40	20	40	—
〃	利尻山	鷺泊・沓形 コース	※佐藤雅彦・佐藤里恵	2	0	0	0	—
道東	斜里岳	旧道コース	※佐々木房子・増子麗子・高柳聡・井 上さよ子他1名	5	100	0	0	—
道南	大千軒 岳	3登山口で 実施	※清水和夫ほか	?	?	—	—	—
〃	大平山	泊川コース	※泉恵子、山下由美	2	2	0	0	—
〃	狩場山	南東直登沢	※岩村・山内・栗城	3	10	0	0	—
屋久 島	屋久島 全域	宮之浦岳	※堀内直哉ほか	不明	—	—	—	—
南ア ルプス	仙丈岳・ 北沢峠	北沢峠 長 衛荘 仙 丈小屋	※大田和利ほか	8	80	0	0	7月24 日
—	22箇所	—	合計	95名	1224部	175部	356部	—

# 2004山のトレイデー活動(活動概要・感想など)

山名	場所	活動の概要	感想・特記事項・備考
出発式	旭川市市民会館	出発式の際に配布物と一緒にマナーガイドも配布式にも備えて、登甲が約3分間、会の活動紹介やマナーガイドの説明を実施	当初250人の参加予定者が150人に減ってしまったとのことだが、アピールはできたとと思われる。非常に熱心に聞いてくださっていた方もいた。NHKの方が北海道の山のトレイデーに関する番組を作りたいと声をかけてくれた。
銀泉台	銀泉台	登山口ゲートに機を立ってテープル、椅子をセットして、コマクサ平を往復。落雪がまだ多く登山者が少なかった。ゴミ、トイレ紙は少なくゴミ袋はガラガラでした。(指定登山者数、100名ほど)	銀泉台での啓発活動は、紅葉のシーズンが最通と思います。
旭岳	染見の池	旭岳山頂でトイレマツプを配布 ニセ金庫岩でティッシュ回収	今回のティッシュは越冬ものでべばり付き多し。 火ハサミで中々取れず暴力切れ。次回には握力を鍛えていかないと反省。
	旭岳ロープウェイ前	結構、「やってみよう」とか「知ってますよ」と言う人が多かった。それと、「HP見てるよ」という人も何人もいました。	5時に縦走隊(旭岳→黒岳)がやって来て元気に出発しました。それにして、プロヨが多い。もうあちこち刺されまくり。
富良野岳	十勝岳温泉コース	26日 13:00~15:00 登山口に機を立てて下山者60組にマナーガイド等説明配布 27日 富良野岳山頂および三峰分岐でマナーガイド40組配布。ゴミはこの日もパーゴボランティア数名が入っていたようですがその前には有ったような！！(小さい買い物袋約1つ)	毎年常に新しい残置ティッシュの回収をするむなしさとともに継続活動の必要性を実感。
十勝岳	望岳台	望岳台～避難小屋間で活動。(山頂には行かず。) 望岳台登山口に機を1本立てて設置。2本を搬行し、避難小屋前に立てる。マツプ、マナーガイドなどを運しながら小屋まで登り、小屋前で啓発活動。 トイレ帳:4箇所(避難小屋周辺の沢) ゴミ:レジ袋(中)×1(3人合計・非圧縮状態で、)	携帯トイレについては、こちらが話す前に「持っている」「使っている」と言う人が多かった。活動に興味を示した男性二人の氏名、連絡先などを記入してもらい、資料をお送りする事とした。今後の活動への協力を承諾いただく。
美瑛岳	望岳台コース	26日 カミホロ小屋周辺にはゴミは見あたらなかった。 27日 福岡、大原、名古屋、静岡、東京の人達にはマナーガイドが好評でした。	皆注者のマナーは良くなってきているようです。 皆さんゴミは持ち帰って行きました。 美瑛岳から望岳台間には菓子の包み紙が少々あり回収した。
美瑛富士	酒沢林道コース	登山口と避難小屋にそれぞれ機を立て、通りがかった人にマナーガイドを配布。 賑わ好評で、興味を持っていただけ。 避難小屋周辺ではトイレ跡を探したが、シーズン始めだからか、それほど臭い状態ではなかった	登山者の数は少なかったが、前日は避難小屋に17人ほど宿泊していたこと。真新しいトイレ跡もあつたものの、印象としては踏み分道などは減少していたように感じられた。小屋周辺も含めて登山道の侵食が見られた。
ニペツ山	十六の沢登山口	登山口のトイレは綺麗に使用されていた。登山道付近にはトイレ痕は見掛けなかった。ゴミも殆どなかった。 天狗平付近にトイレの工事と思われる資材が置いてあったが、まだ使用出来る状態ではなかった。	前日までの天気予報が雨だったため、この季節にしては意外に人が少なかった。登山口にテープルを出し、パンプを置いて待つ行く人は少なかった。
手稲山	平和の滝コース	登山口とガレバの2箇所に機をたてる。 二人で山頂まで登山をしながら配布。 ゴミは殆ど無かった。	みなさん好意的に受け取ってくれた。 三人ほど寄付をしたいと申し入れがあったので、リーフレットに書いてある梅込み先を教える。 昨年8月に登った時にロープウェイ駅の前に簡易トイレが4基設置されていた(管理主体は札幌市公園管理課)が、今日見ると撤去されていた。 手稲山ロープウェイが6月30日～10月11日までの期間運行されるようなので、市はそのトイレを使いと言ったのだろうか。
藻岩山	慈恵堂登山口	登山道には目立ったゴミは無い。 登山口のトイレ利用者多い。	登山口にトイレは必要だと改めて感じた。
積丹岳	東尾根コース	AM11:00ごろ登山口に到着。機を立てる。 下山者に対して、マナーガイドとトイレ情報の配布。 小屋周辺のゴミ拾い。 登山口周辺にはトイレ痕は見当たらず。	予想通りではあったが、山菜取りの人が多かった。 山菜取りの人もおむね好意的であったが、疲労困憊のためにまともにも話もできない人もいて、一種のカルチャーショックを感じる。
羊蹄山	真狩登山口	真狩登山口および登山道・山頂でマナーガイド約100枚配布。ゴミ及びティッシュ回収	
羊蹄山	真狩コース →下り京極コース	山頂付近で配布。 新しいトイレ痕(真狩側3、京極側1箇所)ありパーバー回収。ゴミは空き缶・瓶・紙などレジ袋に3分の1回収。	真狩コースは2週間前に私が清掃登山し、1週間前にはトレイデーで阿部さん達が清掃しても、またかかなりのゴミ。いかに登山者が多いことか。 毎週清掃登山が必要なコースになってしまいい残念。 一方、京極コースは2週前の羊蹄山で清掃登山をしており、トイレ痕以外ゴミは殆ど無かった。

室蘭岳	白鳥ヒュッテ前	ヒュッテ前にのぼり立て、マナーガイドを配布。 登山はしなかつたので、ゴミの状況等は不明。 管理人さんのお話によると登山者で拾ってくる方がいるそうです。	おおむね好意的に受け取っていただけました。 登山口に臨んで管理人さんや登山者にインタビューをしたところ、「室蘭岳ではそれほど問題は無いと思う」とのことでした。その代わりに、オロフレ山や栗葉富士選建小屋周辺の話が出ていました。 オロフレ山の駐車場のトイレはあまりきれいではないので、売店が閉店したら登山口あたりも用を足す人が増えて汚れてしまうのではないかな、とのことでした。 白鳥ヒュッテ前のトイレは9年前までは垂れ流しでしたが、横の川の汚染が明らかになり汲み取り式に改善したそうです。ある女性登山者はトムラのバイオトイレを利用したが、『紙を中に捨てるな』と書いてあったけど、置いてある袋の中から使用済みの紙があふれていた。 『持ち帰ってください』と書いてある袋に入れておいてください』とのことでした。 あと、『バンプレットの字が小さくて読みにくい』という声もありました。 「山でゴミをポイ捨てするのは60〜70歳代の人が多いからさうです。
塩谷丸山		登山道や山頂で登山者にマナーガイドを渡し、理解を求め、協力をお願いする。20部持っていたが不足気味で下山時は配布できなかった。ゴミは殆ど無かったが、登山道脇でトイレ3箇所、全てトイレレットペーパーで下山時に回収した。	3箇所トイレには、みなさん残念に思っていたようだった。 小学校の登山も多いので、登山口にトイレが必要だと言う男性がいた。 JR塩谷駅にトイレがあるので、個人的には必要ないように思う。 しかし、維持管理が徹底され、清掃も可能な設置には喜ぶ。 遅滞した男性が当会の活動に協力したいと言うことで、事務局の連絡先を紹介した。
夕張岳	↑冷水コース ↓馬の背コース	7時に登山口につきも駐車場は満杯(78台) 馬の背コースは冷水に比べて人の行き来が少ないせい使用済みティッシュが目立ちました	
天塩岳	前天塩岳コース	登山口に桶を立て出袋。 バンプレは小屋及び山頂で配布。 トイレ紙は確認できず。 ゴミは空き缶・瓶などレジ袋に1.5袋回収。	登山道で行き交う人には渡しずらいので、今後は出発時に登山ポストに入れて置くことも検討。
利尻岳	鷲泊コース登山口 香形コース登山口	のぼりを各登山口にて、携帯トイレ回収ボックス付近にマナーガイドの拡大版を掲示したのみ。 同日夕方および深夜にすべて回収。	翌8/28に香形〜鷲泊ルートを開件で行って気づいた点 香形コースではトイレ紙やゴミもほとんどないが、「朝知らず」以降の登山道が荒れており、特に「朝知らず」最初のトラバースは例年にならずべりやすい状況。 鷲泊コースでは2カ所ほどティッシュのトイレ紙があるが、シーズン最初ということでそれほど汚れていない。 どちらのコースも携帯トイレプースは使用可能で、興味深いのぞいている人や携帯トイレのことを聞いてくる人もいて、その存在が広まってきた印象を受けた。
斜里岳	旧道コース	26日 登山道の整備方々ゴミ拾い、ペーパーの回収(2箇所)をして来た。 27日 山開き参加者送迎バスの前でマナーガイドの配布。 出発前にバスの中で携帯トイレの使用等お願いする。 その後、登山口でマナーガイド配布。 上二股のきじ場で、かなりのトイレ臭がし、銀鍋がぶんぶん飛んでいる。 登りでトイレ紙は無いものの、下りの新道で2箇所登山道すぐ側にトイレ紙、ペーパーの残置あり。(26日回収) ゴミは見える所には殆ど無かったが、新道熊見峠でバナナの皮、菓子袋あり。(26日回収)	26日 前日にゴミ拾い、トイレ紙の確認をしたので、27日山開き当日は、バスの出発前に現状の紹介と、携帯トイレの使用をお願いをした。 そのせいか27日には、何処にもトイレ紙もトレレットペーパーも確認できなかった。 上二股のトイレ臭は、地元山岳会もとても残念に感じており、また登山者にも不評であった。 清岳荘では、携帯トイレを販売する事になり、マナーガイドを一緒に置いて貰うことにした。
大平山	泊川コース	林道ゲートに機を立て、山頂往復。 登山者が少なく残念。 ゴミトイレ紙はほとんどありませんでした。 先週拾っていたいたかなと思いましたが。	林道ゲートのところにある工事用トイレは機がかかっています。 土、日もあけておいてくれるといいのですが。 同行の方が「小樽の開催に連携する」といいいいのでは」といっていました。
狩場山	狩場山南東直登沢	登りは千走川(C695)から入渓し狩場山南東直登沢を使う。 入渓して1時間後に空き缶、ワンカップ瓶、弁当殻散乱。 明らかに雑音的に捨てたもの。小さいゴミ袋一杯になる。 山頂では3名、下山途中に7名に主旨説明とバンプレ配布。 山頂ではトイレ考の旗と記念撮影するアベックも。 山頂ほかゴミは余りなくマナーは良くなっている。 下山途中で道際にトイレ紙とプツが穴燻り状態、ここ2、3日のものらしい。息を止ながら紙だけは何とか回収。	
仙丈岳・北沢峠	北沢峠 長衛荘 仙丈岳 仙丈小屋	仙丈ヶ岳を愛する会主催の定期演奏会の際に配布	定期演奏会が主体だったため、特に反応なし 初めての演奏会だったため右往左往していたため、バンプレットと一緒に配布したので、なかなか難しかった。8月4日、仙丈小屋に荷揚げの予定。